

環境白書の刊行にあたって

広島県知事 湯崎英彦



私たちが住む広島県は、南に瀬戸内海の多島美、北に雄大な中国山地を有しており、豊かな自然環境に恵まれています。

県では、この恵み豊かな環境を将来にわたって守り育てるため、平成28年3月に「第4次広島県環境基本計画」を策定し、「環境・経済・社会」の統合的向上を図りながら、環境への負荷の少ない持続可能な社会の仕組みの構築を目指して、県民や事業者の皆様と連携・協働した取組を進めているところです。

本県を取り巻く課題の中には、過疎化・高齢化の進行が里山里海の荒廃につながるなど、地域が抱える社会経済の課題と環境問題が密接に関連するものが存在します。

このため、平成28年度から「エコの力でひろしまを元気に」することができるよう、従来の環境施策に加え、新たに地域活性化などの地域課題の解決にもつながる環境施策を展開しております。

また、近年の大規模災害発生時には、短期間に多量の災害廃棄物が発生しており、被災された方々の一日も早い日常の回復のためには迅速な廃棄物の処理が必要となります。

そこで、昨年7月の豪雨災害の教訓を生かし、大規模災害時の適正・迅速な廃棄物処理のため、県災害廃棄物処理計画に基づき、市町等と連携して、実効性の高い災害廃棄物処理体制の強化を図ってまいります。

この白書では、「第4次広島県環境基本計画」の体系に沿って、本県の環境の現状や課題及びこれらに対する取組などを幅広く掲載しています。

本書が、本県の環境についての理解を深め、考え、そして行動につなげていただくための一助となることを期待します。

令和元(2019)年9月